

奈良編



働きたい

こんな会社で

奈良県の優良企業を  
多数紹介!

歴史が息づき悠久の時が流れる  
奈良で、伝統を継承しつつ新たな  
事業を創出し、産業の発展を担う  
17の注目企業を紹介!

奈良県への  
就職志望者  
必読!!

©NARA pref.

奈良県マスコットキャラクター せんとくん 承認番号:奈せ第19-029号

ウーマンライブ新聞社  
クロスメディアHR総合研究所

CrossMedia Publishing

**「こんな会社で働きたい」(奈良編)**

**著者:ウーマンライフ新聞社、クロスメディアHR研究**

**発行:株式会社クロスメディア・パブリッシング**

北葛城郡

# 株式会社アイワ

「総合設備を<sup>かんが</sup>え変える!!」という  
ポリシーを貫いて  
住宅設備業界をリード

## DATA 株式会社アイワ

|      |   |
|------|---|
| 設立   | 1969年5月   |
| 事業内容 | ガス工事・空調工事・住宅設備の販売・施工・保守・メンテナンス                        |
| 資本金  | 3,000万円   |
| 従業員  | 社員77名 専属協力施工者35名                                      |
| 本社住所 | 〒636-0021 奈良県北葛城郡王寺町畠田8丁目1736-1                       |
| 電話番号 | 0745-32-2331  |
| URL  | <a href="http://aiwa-jp.com/">http://aiwa-jp.com/</a> |



1969年（昭和44）の創立以来、大手ガス会社の認定工事会社として住宅に欠かせないガスや水道、冷暖房設備工事などを担っている株式会社アイワ。これまでに奈良県・大阪府・京都府・三重県を中心に3万件を超えるトータル設備の業務を手がけてきました。

そんな株式会社アイワの2代目で会長の森近勝さんと3代目の代表取締役社長の森近浩規さんを訪ねました。

## 「住宅設備一式を一社で」という新形態と社内での分業化で業績アップ

会長…実は当社のはじまりはちよつと変わってしまっていて（笑）。故郷は山口県なのですが、兄が関西の大学を卒業して広告会社に入社したんです。その時、奈良県の建設会社の広告を取りに行き、いろいろお話をうかがううちに、この辺りには住宅設備会社がないことを知りました。それならこの地で立ち上げようと、1969年、兄弟でアイワを立ち上げ、兄が営業、私が仕事を担当しました。ハウスメーカーとの取引がはじまったのは、西大和地域の住宅開発がきっかけです。その時、関西初のハウスメーカーによる住宅展示場ができ、そこへ入らせてもらいました。図面をいただいたら「ガス・水道・電気・床暖房・エアコンなど住宅設備一式お任せください!」と話をしたんです。それまでは業種ごとにそれぞれの会社で手配するのが一般的で手間のかかることでした。それを「すべてやらせてもらいます!」ということでご縁を結んでいただき、それが今でも続いています。

社長…まさに、「総合設備を<sup>かんが</sup>変える」というフレーズの通り、お客様にとっても取引先にとつて



「技術日本一、お人柄世界一で！」と  
会長の森近勝さん（右）と代表取締役社長の森近浩規さん

も「歓びに変える」ことができる会社のはじまりでした。また、山口から出てきたのが奈良だったというのも、良かったんだと思います。ベッドタウンの開発があちこちで進められ、奈良県内はほぼ網羅、取引会社は隣接する府県にまで広がりました。

会長…ハウスメーカーや地場の工務店との取引なので、大きなマンションというより一戸建ての住宅やアパートなど、増改築やリフォームも含めて年間2,000件ほど受注しています。

社長…数多くの取引先と仕事ができることで成長にも繋がりが、強みでもあります。

会長…今の成功があるのは、業界では他社に先駆け仕事を分業化したことも要因だと思えます。昔は一人で全部こなしていましたが、その人が休んだり辞めたりするとハウスメーカーにも迷惑をかけることになります。そこで、作業を分担して各担当者を置き、お互いに助け合いながら一つの物件をチームで担うようにしたんです。

## 愛の和をもって、知識・技術・人柄を備えた「ONE TEAM」に

会長…当社の社名には、「人の和」アイワ（愛の和）」という意味が込められています。みんなで和をもって「ONE TEAM」となり、明るく楽しくやりがいを持って働ける環境づくりを力を入れてきました。CS（顧客満足）はもちろんですが、社員一人ひとりを大事にし、社員の満足も重要視しています。研修施設で専門知識や技術、ライセンスの習得ができますし、現場でのOJT、直属の上司によるヒアリングやフォローもあります。経験や知識がなくても、安心してこの業界に飛び込み、働いていただける環境だと思います。

社長…デジタル技術が進化していくなかで、人にしかできない・人だからこそできることに愚直に取り組みたいと考えています。大変な仕事ではありませんが、「やりがいがあつて多くの方に飲<sup>よき</sup>んでもらえることを喜びとして働ける企業」でありたいと思っています。自分が勤める会社を人に自慢したくなる、子どもや次世代の人に入社したいと思つてもらえる会社となるよう、これからも働きやすい職場を目指していきたいですね。

会長…知識を持って信頼を得る―業界のプロとしてそれは当然ですが、50年間やってきて、人柄も信頼につながる重要要素だとも感じています。安心・安全をかなえる豊富な知識と高い技術力はもちろん、指名で仕事が来るように、個人的にも信頼関係を築いていくことも大事です。だから、私はよく言うんです「一人ひとりが会社の顔だ」と。

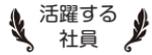
社長…経営理念にも「技術日本一、お人柄世界一」を掲げています。期待以上の品質を追求し腕と心を磨き続けるとともに、日々の暮らしに直結する分野なので心と志が込められていなければなら



福利厚生も充実。2018年には50周年を記念して社員旅行でハワイへ（写真は第1班）

ないと考えます。お客様やお得意先といろんなお話をするので、相手の言葉をしっかりと受け止め、理解して返せるコミュニケーション能力も重要ですしね。おかげさまで、取引先から担当者の人柄も褒めていただきます。人柄でお仕事をいただけている、というところはあると感じますし、みんながそれを考えながら仕事ができていると思います。「相手のことを思って仕事に取り組むように」といつも言っています。気遣いや思いやりを持っては物事がスムーズに進み、仕事へのやりがいや楽しみを感じられるのではないのでしょうか。

会長…それに、「辛抱」も大切ですね。社会人になって働く中で失敗もするでしょうが、反省して改善できる人間になってください。それが成長につながります。幸い、「もの作り」というのは、やった仕事が残ります。それを見て「自分たちが作ったんだ！」と誇りを持てるのも、この仕事の価値であり喜びでしょう。「一つのチームとして一緒にやろう！」という姿勢でこれからも取り組んでいきたいと思えます。



## 自分の本領を発揮できる仕事との出会い

社員インタビュー・株式会社アイワ 櫻井杜緒さん 梶田修司さん 早川みゆきさん



話す表情から充実感があふれている（左から）櫻井杜緒さん、早川みゆきさん、梶田修司さん

早川…私は、給湯器の定期点検や修理でご家庭を訪問しています。「手に職」という技術系の仕事にずっと憧れており、工業高校へ進みました。いろんなところへ行ってお客様の対応や様々な作業をするのがおもしろそうだと思います。この会社を選びました。

梶田…早川さんと同じ工業高校出身で、先生に近くでいいところがあると、この会社を教えてくださいました。私は施工管理の業務をしています。この仕事はいろんな業者の人と話し、様々なことを教えてもらえるのでおもしろいです。次第に現場もスムーズに進められるようになり、どんどん仕事が楽しくなっています。

櫻井…ハウスメーカーや工務店に住宅設備の提案営業をしています。前職は店舗の中で販売業務をしていましたが、もつと自分から提案していく営業をしたいと思いはじめ、転職を決意しました。

## 人とのつながりの中で見つける、やりがいと楽しさ

櫻井：取引先が多いので手堅い会社だと思います。先輩方が積み上げてきた実績や信用があるので、会社名を出すとみんなに「知ってるで」と言ってもらえて、仕事がしやすいですね。

梶田：21才（取材当時）の若造なのに、取引先の忘年会や新年会などに行くといろんな業種の代表の方と話ができ、すぐく得をしているな、と思います。

櫻井：確かに。普通の生活をしていたら話す機会のない方、触れ合うことのない方に会えて、いろんな知識を覚えてもらえるのは、本当にありがたいですよ。

早川：私自身は他社の人と話す機会は少ないですが、当社の他部署の人や、会長や社長など上層部の方でも話しやすいアットホームな雰囲気が好きです。女性のメンテナンスタッフは珍しいといわれますが、女性が一人で在宅中でも安心して家においてもらえるので、自分の存在価値とがんばり甲斐を感じられます。

梶田：若いということもあって、最初は大先輩の職人さんに冷たい態度を取られたこともありましたが、でも、元気に挨拶を続けているうちに、声をかけてもらえるようになり、今では「わんちゃん」と愛称で呼んでもらっています。そうなるてようやく「認めてもらえたんだ、会社の人たちの輪の中に入ることができたんだ」と実感できて、うれしいですね。

早川：私はエンドユーザーと接することが多いので、故障にいかに対応できるかが重要だと思っています。給湯器が壊れたと連絡をもらった時、「すぐ修理に来てくれて助かった、ありがとう」とお客さんに言ってもらえたことがうれしかったです。最近必要な資格を一通り取り終えました。これからどんどん経験を積んで、難しい故障を一人で回れるようになりたいです。



部署間のつながりも深く、  
1つ1つの物件に全力投球



女性が現場で活躍していることは  
会社の誇りであり自慢

櫻井…商品の販売業務だった前職とは違い、今は提案して現場で実感できるし、お客様にもハウスメーカーにも「いい提案をもらった」と喜んでもらえるのがうれしいです。付き合いが長い分、責任も重いけれど、そういう社外の評価がやりがいにつながっています。若いこともあってまだまだ説得力が弱いので、取引先にもつと喜んでもらうためにも、経験を重ねながらスムーズに対応できるようになりたいです。

梶田…仕事が休みの日は、リフレッシュも大切だと思っています。思い立ったら車を走らせます。いろんなところへ行って、いろんなものを見るのが好きなんです。

早川…昔からよく家族旅行に行きます。車中泊の弾丸旅行もやりますよ。

櫻井…私は絵を描いたり、ライブに行ったり、自分で作曲したり…いろんな趣味を楽しんでいます。それが仕事の活力にもつながっていると思います。